

平成 29 年度後期防災訓練 11 月 19 日に実施

平成 29 年度秋の防災訓練を 11 月 19 日(日)、朝の清掃終了後、区民会館で実施しました。今回の防災訓練の重点は「防災講話」と「炊出し訓練」でしたが、従来通り、情報収集訓練、水消火器による消火訓練、救急救命訓練も実施しました。参加者は約 70 名でした。もっと多くの人に参加して欲しいですね。

春の防災訓練に引き続き、牛久一中生が参加してくれました。春は男子テニス部の生徒さんでしたが、今回は東岡見行政区の生徒さん 9 名と小学 6 年生 1 名も参加、受付やら炊出しやらと大活躍してくれました。ありがとう、大変助かりました。



1. 情報収集訓練、避難所開設訓練

- ・朝の清掃終了後、各班毎に集合し、班長がチェックシートを使って班員の避難状況や家屋の損壊状況を確認しました。
- ・被害状況確認後、班長は班員を伴って区民会館に集合、本部受付で班内の被害状況等を報告しました。牛久一中生が受付を担当、しっかりと役目を果たしてくれました。

2. 防災講話

- ・防災の専門家でもある自主防災本部の玄間部長が約 2 時間にわたり、スクリーン上に画像を映しながら「自助」を中心に防災上必要な事柄について丁寧に解説してくださいました。自助は防災の基本です。
- ・東京消防庁の「地震に対する 10 の備え」にそのポイントが纏められています。身の安全に対する備え、初動対応に対する備え、確かな行動への備え、身に付けておくことが大切です。
- ・突っ張り棒などで家具の転倒防止、多くお皆さんが実施していることと思いますが、まだの方、突っ張り棒などで家具が倒壊しないよう備えましょう。



- ・窓ガラスや食器棚のガラスは飛散防止用のフィルムを張っておくことも大切。この処置は行っていないご家庭が多いと思われます。けがの防止に必要です。ぜひ実行したいですね。
- ・大きい地震の後は停電や断水となる可能性が大です。断水になればトイレも流せなくなります。お風呂にはしっかり水を張っておきましょう。停電に備えてすぐ使える場所に懐中電灯を置いておきましょう。

3. 炊出し訓練と給食

- ・今回はカレーライスにしました。女性の本部役員・班長さんが朝 8 時頃からカレー作りに大わらわ、ニンジン、ジャガイモ、玉ねぎなどの野菜や豚肉を大量に刻み、大きな鍋 2 つに甘口と辛口のカレーを作りました。なかなかの味に仕上がりが好評でした。
- ・中学生たちもかまどに薪をくべたり、野菜を切るなどカレー作りに大いに力を発揮してくれました。



地震 に対する 10の備え

身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう

- ・けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- ・家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。



けがの防止対策をしておこう

- ・食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- ・停電に備えて懐中電灯をすぐに使えるところに置いておく。
- ・敷居物でケガをしないようにスリッパやスノーカールなどを身近に準備しておく。



家屋や塀の強度を確認しておこう

- ・家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ・ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。



初動対応の備え

消火の備えをしておこう

- ・火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置き（濡れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする）をしておく。



火災発生時の早期発見と防止対策をしておこう

- ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- ・普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- ・電気やガスに起因する火災発生防止のため感震ブレーカー、感震コンセントなどの防災機器を設置しておく。



非常用品を備えておこう

- ・非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- ・重宝ジャックやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。



確かな行動の備え

家族で話し合っておこう

- ・地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- ・外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- ・家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- ・普段のつき合いを大切にするなど、隣近所との協力体制を話し合っておく。



地域の危険性を把握しておこう

- ・自治体の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。
- ・自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分用の防災マップを作っておく。



防災知識を身につけておこう

- ・新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- ・消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。



防災行動力を高めておこう

- ・日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身につけておく。



4. 消火訓練

- ・今回は廃棄処分用粉末消火器がなかったので、水消火器を使って消火器の取扱いを勉強しました。火災を起こさないが基本ですが、火災発生に備え消火器設置や風呂の水の貯め置きもしておきましょう。

